

第1学年2組 音楽科学習指導案

1 題材名 箏の基本的な奏法を身に付けよう

2 題材の目標

- (1) 箏の音色と奏法との関わりを理解し、縦譜の読み方や基本的な奏法などの技能を身に付けている。(知識・技能)
- (2) 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、箏の響きある器楽表現を創意工夫している。(思考・判断・表現)
- (3) 音楽を形づくっている要素や音の響きに注目しながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。(主体的に学習活動に取り組む態度)

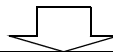
3 題材構成の意図

音楽の授業に対する興味・関心が高く、学習課題に意欲的に取り組む生徒が多い。箏の演奏を小学校で演奏したことがある生徒は50%であった。

本題材では、箏の基本的な奏法を身に付けて演奏できるようになることを目標としている。箏の学習の大きな魅力は、その響きにある。響きのある音で演奏するためには、奏法に気を付けることで音を響かせることができる。13本の弦から生まれる多彩な音色を楽しみながら演奏することを通して伝統的な音の魅力を味わわせたい。また、学校にある爪は角爪(生田流)を使用するので、生田流の座り方、縦譜の楽譜の読み方などの技能も身に付けさせたい。グループ演奏では、音色や拍、間、テクスチャなどの音楽を形づくっている要素を意識して演奏することで合奏がよりよくなるということも意識づけさせたい。指揮者がいない合わせ方はどうすればよいかという問題意識のもと、学びを自分事として捉えさせていきたい。

4 題材の学習計画

時間	場面	学習活動(夢中になって学んでいる姿)	資質・能力等
1	習得する	・ 箏の名称・流派による爪と座り方の違い・縦譜の読み方・爪のはめ方・基本的な奏法を身に付けている。	・ 箏の奏法や縦譜の読み方について身に付けている。(知・技)
2	見通す 習得する	・ 縦譜の楽譜を正しく読み、「さくらさくら」の分奏練習をしている。	・ 主体的・協働的に分奏練習に取り組んでいる。(態)
3 本時	考える 対話する	・ 音楽を形づくっている要素とパートの役割を考えながら「さくらさくら」のグループ練習をしている。	・ 演奏のポイントを自分事として捉え、創意工夫してグループ練習に取り組んでいる。(思・判・表)
4	考える 振り返る	・ 音楽を形づくっている要素とパートの役割を工夫して発表会をしている。 ・ 他のグループでは、どのような演奏の工夫をしているか聴き取っている。	・ 練習した成果を主体的・協働的に発表している。(態) ・ 演奏のポイントがどのように生かされているか考えながら級友の発表を鑑賞している。(思・判・表)



題材を通して育成したい生徒の姿

箏の基本的な奏法を身に付けて演奏することにより、響きのある伝統的な音で演奏できることを見だし、夢中になって思考を巡らせながら響きのある伝統的な音で演奏できるように追究する姿

5 本時における音楽科の見方・考え方を働かせた学びの姿

- 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、表現したり、鑑賞したりする姿

6 本時の研究の視点

【見方・考え方を働かせながら学びを自分事として捉える指導の工夫】

- 音楽を形づくっている要素を意識させながら音楽活動に取り組みせるとともに、合奏での3パートの役割を考えさせ、自分がどのように演奏すれば豊かな音楽表現になるか考えながら取り組ませる。

【学びの連続性を意識した振り返り】

- 題材の学習活動の中で身に付けた奏法や技能を、導入の場面(前時から本時へ)、まとめの場面(本時から次時へ)で自分事として捉えていけるよう視点を示したり、気付きを取り上げたりして共有するような場の設定を行う。

7 本時のねらい

- 「さくらさくら」のグループ練習を通して、音楽を形づくっている要素を意識しながら演奏力を高めるとともに、合奏でのパートの役割を考え、音楽表現を工夫することができる。

8 学習過程 (3/4)

	学習内容・活動	時間	○教師の支援※評価 (方法)
課題設定	1 前時の学習までの確認をする。 ・爪のはめ方 ・奏法・座り方 ○爪の向きや座り方を確認しよう。 ○押すように弾くんだよね。	7	○ グループ内で互いに確認・助言しながら既習内容の確認をさせ、伝統音楽への向き合い方を身につけさせたい。 ○ 巾から一の糸を交互に弾き、座り方・奏法について確認させ、伝統的な音の響きを味わわせたい。
課題解決	2 学習課題の確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">響きのある音で箏を弾いて合わせてみよう</div> ○響く音がいいね。⇒音色 ○音の長さに気をつけたいね。⇒拍 ○出だしがそろうといいね。⇒間 ○音の重なりに気をつけたいね。⇒テクスチュア	5	○ 「さくらさくら」の演奏を成功させるためのポイントを確認させ、課題解決に向けて見通しをもたせたい。 ○ 音楽的な見方・考え方を働かせながら本時の活動ができるように、音楽を形づくっている要素から確認させ、本時の課題解決に向けて見通しをもたせる。
振り返り	3 グループで演奏する。 (1) 練習① ○跳ね上げないように弾いてみよう。 ○弾く音を歌ってみよう。 ○「3はい」とかけ声をかけて出だしをあわせよう。 ○アイコンタクトしたり呼吸をあわせよう。 (2) 中間発表 ○押し手が上手だね。 ○音が響いているね。 (3) 練習② ○弾き方をまねしてみよう。 ○タイミングを合わせよう。 ○音の重なりに気をつけたいね。 ○3のパートの速さが一定になると1と2のパートは弾きやすくなるね。 ○2のパートはカッコいいね。 ○1のパートは主役だね。	30	○ 練習している様子から、活動につまづきがある場合には教師が助言し、課題解決に向けて見通しをもたせたい。 ○ 音楽を形づくっている要素と関連づけながら活動がすすんでいけば称賛し、活動への意欲をさらに高めさせたい。 ※ 要素や音の響きに注目しながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。(グループでの話し合い・観察)
	4 本時のまとめをする。 ・振り返りの記入 ・片付け <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">・ 奏法に気をつけると音色が変わる。 ・ 拍・間・テクスチュアに気をつけると合奏がよりよくなる。 ・ 土台となる3パート、旋律を奏でる1パート、曲に華やかさを生む2パートのそれぞれの役割を意識して演奏するとよい。</div>	8	○ 音楽を形づくっている要素と関連づけながら活動がすすんでいるグループの演奏を紹介する。 ○ 級友の発表を聴いて、自分達の演奏に取り入れてみたいことを話し合い、見方・考え方を働かせながら練習させる。 ○ 3つのパートの役割を考えさせ、自分がどのように演奏すれば豊かな音楽表現になるか考えながら取り組ませる。 ○ 本時の学習を通して振り返りをさせる。本時で意識して学習したこと・できるようになったこと・次時でがんばりたいことなど、自分の言葉で振り返らせる。 ※ 自分のことばで振り返ることができる。(振り返りの記述) ○ 片付けをさせる場面では、使った楽器・道具を丁寧に扱うことで、伝統文化を大切にしていこうとする思いを育む。また、グループで協力して片付けを行うことにより、グループでのまとまりを高める。

9 板書計画

響きのある音で
箏を弾いて合わせてみよう

「さくらさくらの演奏を」
成功させるためのポイント

音色 拍 間 テクスチャ

パートの役割は？

- 1のパートは 旋律
- 2のパートは 曲に華やかさ
- 3のパートは 土台

本時の振り返り

- 1 1 / 4 グループ練習
- ・ 本時で意識して学習したこと
 - ・ できるようになったこと
 - ・ 次時でがんばりたいこと